

健康経営の取組の推進について

取 組 内 容

1 取組の背景

岩手県では、65歳未満の若い世代から全国に比べ年齢調整死亡率が高いことから、働き盛り世代の生活習慣改善に向けた取組が求められている。

2 事業概要（取組の特徴）

(1) 事業目的

県民や企業が主体となり、内臓脂肪量の減少の「見える化」を切り口として、生活活動量増加や食生活改善等の健康づくりを促す環境を整備する。

(2) 取組の特徴及び成果

ア 岩手県健康経営実践支援会議（事業開始：平成30年度）

平成30年8月、関係5者の中で、「健康経営の推進に係る連携協定」を締結（県庁にて締結式を実施）。

※ 関係5者：協会けんぽ岩手支部、県商工会議所連合会、(株)岩手日報社、アクサ生命保険(株)、県（保健福祉部、商工労働観光部）で構成

岩手県健康経営実践支援会議は、関係機関及び団体等が連携し、企業が積極的かつ自主的に健康経営に取り組むための環境づくりや支援を協働で進めることを目的に、上記の協定締結5者に商工団体2者を加えた7者で立ち上げたもので、関係団体それぞれの強みを生かし、中小企業等の健康経営の取組を支援するための取組等について協議を行っている。

現在、この会議における協議を踏まえ、認定制度や新たな表彰制度など健康経営の実践拡大に向けた取組が進められているところ。

イ いわて健康経営事業所認定制度（事業開始：平成30年度）

県と企業、医療保険者等が連携して働き盛り世代の健康づくりを推進するため、「健康経営」に積極的に取り組む事業所等を知事が認定し、その取組を関係機関や団体が協働して支援することにより、県内事業所における健康経営の実践的な取組の一層の促進を図るもの。

事業所が行う「健康経営宣言」（協会けんぽ等事業）に続くステップとして、1年間の取組の実践状況について、一定の要件を満たす場合に認定。認定事業所には、認定証の交付、ロゴマークの使用のほか、県ホームページでの公表などのインセンティブを付与。

平成31年度は、138事業所を認定。

ウ いわて健康経営アワード（事業開始：令和元年度）

事業所における健康づくりの取組事例を広く募集し、優良な取組を表彰するとともに、その取組内容を広く紹介することにより、健康経営に関する取組の更なる普及を図るもの。

「健康経営宣言」、「いわて健康経営事業所認定制度」に続くステップとして、位置付け。受賞事業所における取組等は、新聞紙面等も活用し、県内に広く周知し、更なる取組の推進につなげるもの。

令和元年度は、岩手県知事賞（最優秀賞）1事業所、優秀賞4事業を選定し、令和元年12月に表彰式を行った。

3 今後の事業展開に向けた課題等

健康経営の取組の促進に向けて、更なるインセンティブの付与が課題となっている。

中小企業では、健康経営を推進する人材やノウハウが不足していることから、関係団体の強みを活かして、連携しながら取組を促進することが必要となっている。